

## 目標達成計画

作成日：平成29年1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	管理者の変更に伴い利用者様・家族様との信頼関係の再構築が求められる。	利用者様・家族様に安心・安全に暮らしていただき、信頼していただけるようになる。	・面会時には、挨拶だけでなく、近況やまた今、不安に思っていることなどお話しできるように時間が合えば居室に伺う。 ・毎月の利用者様の近況報告を写真付き等にして表情もお伝えできるよう形に変更していく。	12カ月
2	13	職員の質の向上と定着、また一人一人の力の底上げが求められる。	指導できる職員を多数作り、新しい職員が入っても安心して働ける環境を作る。	・各職員、マイチャレンジ(個別面談)等を行い、その職員の適正も考慮しつつ役割を明確にしていき、振り返る時間も作る。 ・現場主体で考えられる体制を作り、現場主任中心・意見を集約できる体制を作る。 ・会議の場で皆が意見できるよう会議を進める。	12カ月
3	49	ADL低下に伴い、個々の利用者様の状態に合わせたケアの提供が求められる。	職員一人一人が状況把握を行い、利用者様の個別のケアを意識して日々取り組める。	・ケアカンファレンスをフロア会議時に行い、皆で共同しプラン作成を行う。 ・状況変化等は朝礼時に確認行い、情報共有を行う。	12カ月
4	52	外観・生活空間(玄関・リビング・居室・キッチン・トイレ・浴室・事務所・和室等)の環境整備・居心地の良い環境作りが求められる。	外観から綺麗に整備され、また入口の玄関も含め、利用者様の生活空間を通して、居心地の良い、働き心地の良い環境を作っていく。	・外観部の整備(掃除の徹底・花の設置)を行う。 ・生活空間は、利用者様が楽しく、見やすいように、レク・手芸作品や生活の写真等を掲示していく。 ・匂いや光・見えないところの部分等の外的な刺激も配慮し、リビングの掃除・居室の掃除も随時行い、チェック体制も整える。	12カ月
5	2	地域との繋がりの強化が求められる。	デイサービスも地域密着型となり、施設全体が地域に根差し地域のための施設になるようになる。	・まずは、職員・利用者様と散歩等に出掛け挨拶等を交わし触れ合う機会を作っていく。 ・地域の行事参加・地域清掃の参加を行う。 ・相談窓口になれるように掲示物の定期的な張替を行う。	12カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。